



庄原市名誉市民の皆さん

8月の臨時議会で、「庄原市名誉市民に関する条例」が議決され、合併前に名誉市民・町民の称号を贈っていた庄原市名誉市民、西城町名誉町民および総領町名誉町民に、新庄原市名誉市民の称号を贈ることとなりました。

新市の名誉市民となられたのは、次の4人の方です。



西田 修一さん

(旧庄原市名誉市民)

明治34年6月15日生まれ
(昭和53年12月19日没)

昭和17年に庄原町議に初当選後、昭和24年には庄原町長、昭和26年からは広島県議会議員として、通算36年もの長い間地方政界で活躍された。その間、広島県議会議長、全国都道府県議会議長会会長等の要職に就かれ、地方および地方議会発展に尽力された。特に、昭和42年には広島県内陸部開発協議会の設立を提唱され、自ら会長に就任して南厚北薄の県政の是正や、内陸部が抱えている深刻な過疎問題の解消に心血を注がれた。



永山 忠則さん

(旧庄原市名誉市民)

明治30年10月14日生まれ
(昭和59年6月13日没)

敷信村長、県議会議員、衆議院議員を経たのち、昭和29年5月旧庄原市初代市長に就任、その後、再び衆議院議員となり、昭和11年2月から通算11期32年間在職された。昭和40年には、自治大臣、国家公安委員長に就任。50数年間の政治活動の中で、公共の福祉の増進、また、農村出身議員として、農村に暮らす人たちの生活向上のための政策推進に尽力された。



山口 信夫さん

(旧総領町名誉町民)

大正13年12月23日生まれ

総領町稲草に誕生し、東京商科大学(現一橋大学)を卒業後、旭化成工業株式会社(現旭化成株式会社)に入社され、平成4年4月から同社代表取締役会長として現在に至っておられる。平成13年7月には、日本商工会議所会頭並びに東京商工会議所会頭に就任され、その他政府、産業経済界の数々の要職に就かれ、日本の発展に広く貢献されている。



宮田 武義さん

(旧西城町名誉町民)

明治24年12月14日生まれ
(平成4年11月10日没)

西城町油木に誕生、中国上海東亜同文書院に学び、書の道を窮められるとともに、帰国後東京丸の内中国料理店「山水楼」を創業された。皇室を始め、ノーベル賞作家川端康成氏、版画家棟方志功氏など多くの文化人、また政財界人など幅広い交流の中で、愛郷の念ひとしお深く、比婆山伊邪那美命御陵伝説地の顕彰、比婆・道後・帝釈国定公園の指定、県民の森開発、東京西城会の設立などに尽力された。晩年には愛蔵の貴重な書画多数を西城町に寄贈された。